

[工作物]

配慮項目	基本的視点	誘導基準
共通 自然環境を生かす	地形・水辺	地形や水辺などの自然環境を生かすとともに、地域固有の植生などにも配慮し、街並みや山並みと一体となった風景を創出する。
	植生	

配慮事例

- ① もとの地形を尊重し、風景の変質を避ける。
- ② 地域に親しまれている古木や既存林を大切にする。
- ③ 補植する場合は、周囲にある樹種を選ぶ。

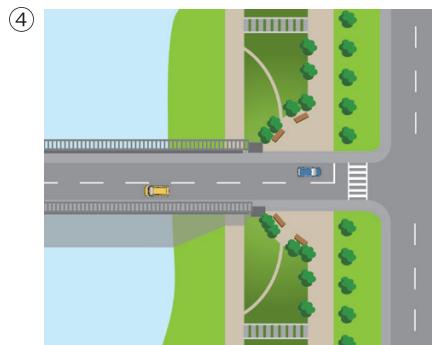


[橋りょう・高架橋等]

配慮項目	基本的視点	誘導基準
D1 地域性に配慮する	スケール感	周辺の街並みや雰囲気に合ったスケール感に配慮するとともに、街並みとの接点となる橋詰の修景を図る。 (①～④)
	橋詰の修景	
	シークエンスデザイン	橋りょうへ向かうアプローチ道路と橋りょうとのシークエンス（連続性）及び重なり合って見える橋りょう相互のデザインの関連性を考える。 (⑤, ⑥)
	デザインの関連性	
	ランドマークへの見通し	山並み、ランドマークへの見通しに配慮するとともに、形態や色彩については、背景となる自然環境や街並みに調和させる。なお、色彩は「色彩景観基準」(P9)による。 (⑦～⑨)
	形態・色彩	

配慮事例

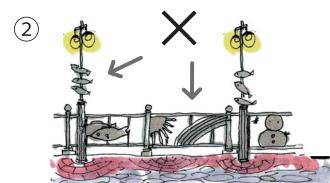
- ① 周辺状況に合わせて構造形式を選定する。
- ② 街並みとの調和を図り橋詰を修景する。
- ③ 人通りの多い橋りょうでは、滞留できるような橋詰空間を計画する。
- ④ 水辺へのアクセスを整備するなど、道路と水辺の結節点となる橋詰空間を創出する。
- ⑤ 橋りょうとアプローチ道路は、橋上空間の連続性を持って見えるよう仕上げなどで統一感をもたせる。
- ⑥ 隣り合う橋りょうと色や構造が調和するよう配慮する。
- ⑦ 山並みを背景とする場合は、山並みとの調和に配慮する。
- ⑧ 街並みのシンボルとなるランドマークが周辺に位置する場合は、ランドマークの見通しに配慮する。
- ⑨ 橋りょうの色彩は景観色70色とし、周辺との調和に配慮する。



配慮項目	基本的視点	誘導基準
D2 意匠に配慮する	全体のバランス	上部工・下部工を一体的にとらえるとともに、桁や地覆、高欄などの連続感を大切にし、照明や防音壁などを含めた全体のバランスに配慮する。また、具象的な装飾や華美なデザインは原則として避ける。 (①, ②)
	量感の軽減	軽やかなデザインの高欄や橋脚の面分割などにより全体の量感を抑えるとともに、歩行者の視点から近い、配管や電気設備等もデザインの一部として処理するなど、ディテール処理による修景を図る。 (③～⑥)
	桁下の修景	

配慮事例

- ① 下部工と上部工のデザインを合わせ、一体的に見せる。
- ② 様々なデザインモチーフを用いたり、直喩的なデザインの使用は避ける。
- ③ 桁側面や橋脚は、量感や重苦しさを低減したデザインとする。
- ④ 高欄をシンプルなデザインとし量感を抑えるとともに、歩行者等が河川景観を眺められるようにする。
- ⑤ 桁下の配管等を橋りょう全体のデザインの一部として見せるなどの工夫をする。
- ⑥ 排水管を橋脚のスリットに埋め、目立たなくするなどの工夫をする。



配慮項目	基本的視点	誘導基準
D3 付帯物に配慮する	デザインの調和	付帯する案内板や柵等のデザインを統一するほか、集合化を図るとともに、歩行部では安心・快適に歩けるようしつらえの工夫を行う。
	歩道空間の演出	

配慮事例

- ① 橋と接続する道路などの周辺も、できる限り付帯物のデザインを統一する。
- ② 案内板等はできる限り集合化・コンパクト化するとともに、案内板等の柱と照明柱等を共通化するなど、乱雑な印象にならないよう配慮する。
- ③ 付帯物の色彩を橋りょう本体と調和させるなど、全体的な統一感に配慮する。
- ④ 眺望景観や河川景観などが得られる場合は、全体のデザインバランスに配慮しながら橋詰広場や橋上バレコニーを設置し、歩道空間を演出する。
- ⑤ 歩道部分の舗装は、過度な模様張りを避け、シンプルなデザインとする。



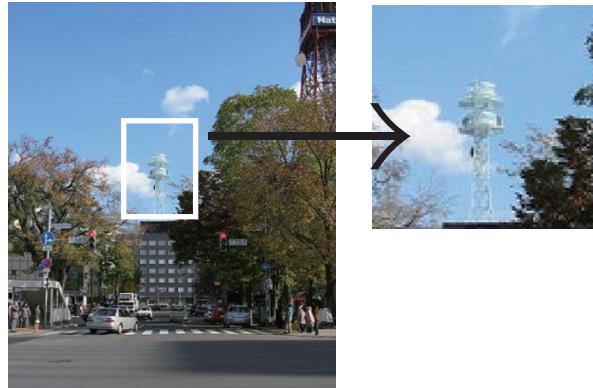
[鉄塔・煙突等]

配慮項目	基本的視点	誘導基準
E1 地域性や街並みに配慮する	スケール感	街並みへの影響を軽減するために位置やスケール感に十分配慮する。(①)
	見せ方・見え方	建築物との位置関係など周辺からの見え方に配慮するとともに、足元の緑化を施すなど、周辺との調和を図る。(②, ③)
	調和する色彩	周辺景観への強い影響を抑えるために、背景となる自然環境や街並みと調和する色彩を用いる。なお、色彩は「色彩景観基準」(P9)による。(④)

配慮事例

- ① 可能な限り低いものとする。
- ② 道路境界からセットバックさせる。
- ③ 足元を樹木や建築物で隠し、低く見せる工夫をする。
- ④ 主な視点場から見たときの背景に応じて、空や緑、街並み等に溶け込むような色彩を用いる。

④



配慮項目	基本的視点	誘導基準
E2 全体的な姿に配慮する	量感の軽減 構造美	全体の量感を軽減するディテール処理を工夫するとともに、構造美を生かした形態とする。

配慮事例

- ① 量感を軽減するディテール処理を施す。
- ② 構造美を生かした形態とする。

②



配慮項目	基本的視点	誘導基準
E3 付帯物に配慮する	柵などの修景	周囲に設置する立ち入り防止柵などは、街並みと隔絶した印象を与えないように、緑化したり、目立たない色彩を施す。なお、色彩は「色彩景観基準」(P9)による。

配慮事例

- ① 緑化したり、目立たない色彩を施す。

①



[擁壁等]

配慮項目	基本的視点	誘導基準
F1 地域性に配慮する	最小限の工作物 緑化修景	できるだけ工作物を抑える造成方法や、十分な緑化を行い、人や車に対する圧迫感、違和感を軽減する。

配慮事例

- ① 既存地形をできるだけ生かして、擁壁等の長さや高さを抑える。
- ② 長大な擁壁等は、分割し、緑化するなどして圧迫感を軽減するよう配慮する。
- ③ 大規模な法面等を美しく緑化する。

①



③

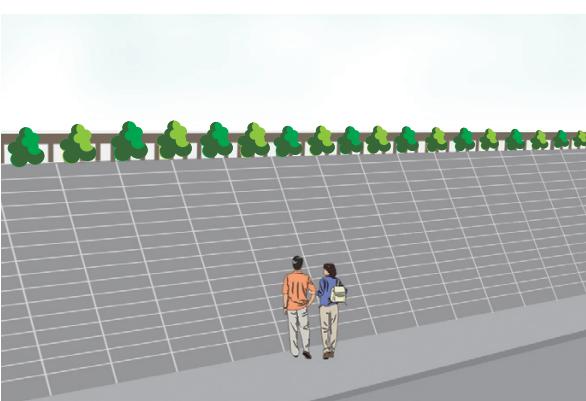


配慮項目	基本的視点	誘導基準
F2 付帯物に配慮する	柵などの修景	柵や設備等は、周辺の景観を阻害しないよう、設置位置を工夫し、目立たない色彩を施す。なお、色彩は「色彩景観基準」(P9)による。

配慮事例

- ① 柵や塀は必要最低限の高さとして、周辺景観に配慮する。
- ② 設備類を擁壁の中に組み込んで目立たなくする。

①



②



必要最低限の高さの柵と緑化による修景

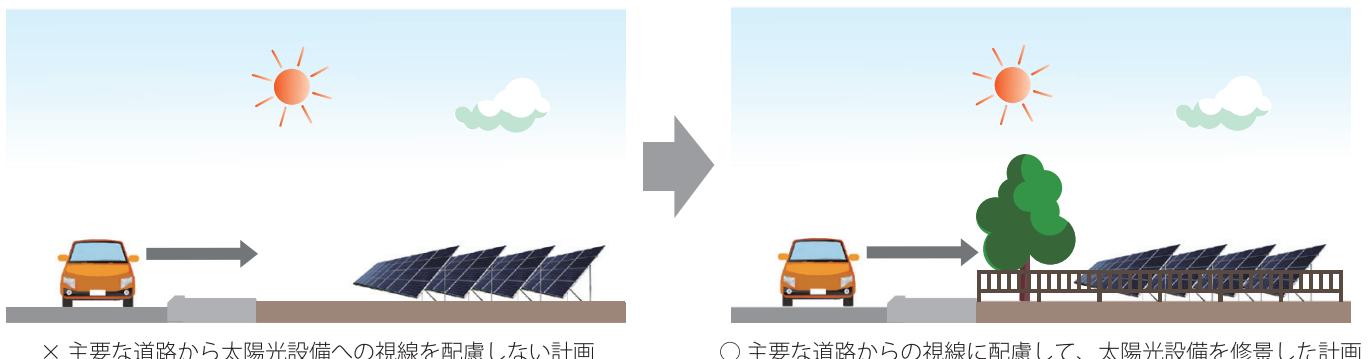
[太陽光発電施設]

配慮項目	基本的視点	誘導基準
G1 地域性に配慮する	視点場からの見え方	主要な道路や視点場などからの見え方に配慮し、緑化や配置の工夫などによる修景を図る。

配慮事例

- ① 太陽光パネルは低反射性のものを使用するなど、反射光が市街地等に影響を及ぼすことがないよう配慮する。
- ② 景観資源への近接は避ける。
- ③ 主要な道路や視点場などから見えないように、目隠しとなるような植栽や柵などを設置する。

(3)



配慮項目	基本的視点	誘導基準
G2 付帯物に配慮する	柵などの修景	柵や管理用建築物等は、周辺の景観を阻害しないよう、設置位置を工夫し、目立たない色彩を施す。なお、色彩は「色彩景観基準」(P9)による。

配慮事例

- ① 太陽光発電設備の付属設備は、低明度で統一するなど、周辺環境と調和した色彩となるよう配慮する。
- ② 柵などを太陽光発電設備等の目隠しとして設置する場合は、緑化したり、周囲と調和するよう修景に配慮する。

(2)

